

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により行う。
2020年1月1日のWAの競技規則TR5の改正と新たに「競技用靴に関する規定」が導入されたことに基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長及び競技役員はいつでもシューズチェックをすることができ、競技者はその指示に従わなければならない。明らかに規則・規定違反のシューズや疑わしいシューズは、チェックや回収の対象になることがある。競技後にシューズの違反が認められた場合は、審判長が「失格」と判断し、記録が取り消される場合がある。(スパイクピンのチェックは招集時に行う)。

※競技用靴・靴底厚さについては別表を参照

2. 年齢の起算は、2022年4月2日現在とする。出場できる種別は、当該年齢又は当該年齢の下の種別に限る。

3. 競技場への入場について

入場制限を緩和し、有観客とするが、入場は大会関係者(競技役員、選手、補助員、監督、コーチ、付き添い、家族)に限定し、以下の要領で、入場者の把握・管理を行う。

【入場受付について】

- ① 選手・付添等関係者の競技場への入場は、1F正面玄関において、「体調チェックシート(受付提出用)」を提出し、「選手証」「大会関係者証」を受け取る。
- ② 再入場の場合は、「選手証」「大会関係者証」を競技役員に提示すること。
- ③ 入退場は1F正面玄関のみとする。
- ④ 応援等については、サイド芝生スタンド及びバックスタンドとする。(正面2Fメインスタンド入口は開放しない。)
- ⑤ 正面玄関ホール附近および室内練習場での場所取りをしないこと。
- ⑥ 更衣室の利用は、短時間とし、社会的距離を守ること。更衣室に荷物を置いたままにしないこと。また、シャワー室の使用はできない。

4. 練習について

- ① トラック内での練習は、競技開始時間の30分前(9時00分)までとする。(使用するコースについては、審判およびアナウンス等の指示に従うこと)
- ② バックスタンド後方(東側)の練習走路は、終日使用できる。
- ③ 投てき種目の練習は危険をともなうので、各種目とも競技開始前に競技役員の指示により投てき場内で行う。
- ④ 各自、他の競技者と交錯しないようにするなど、十分に事故やケガの防止に努めること。

5. 招集について

- ① 招集場所は室内練習場とし、下記の時間帯に招集を完了できなかった場合は出場できない。

【トラック種目】 競技開始時刻の30分前開始 20分前終了

【フィールド種目】 競技開始時刻の40分前開始 30分前終了

- ・アスリートビブスおよびスパイクのチェックを受け、各自で腰ナンバーカードを受け取る。
- ・チェックを受けたら、招集所に留まらず、速やかに現地に移動すること。

② リレーについて

【リレー種目】 競技開始時間の35分前開始 20分前終了

- ・リレーオーダー用紙は招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。
- ・招集は4人そろって受けること。他種目に出場の場合は、「他種目同時出場届」を招集所に提出すること。
- ・提出する「リレーオーダー用紙」「他種目同時出場届」は招集所で配布する。

6. 競技について

- ① 競技者は、スタートリストに記載されたアスリートビブスで出場すること。変更はできない。
- ② トラック競技の出場者は、腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に、はがれないように付けること。
- ③ A5000m、B5000m、C5000mは別ビブスを使用する。別ビブスは、招集所で受け取ること。
- ④ スパイクのピンは、本数は11本以内とし、9mm以下の全天候舗装用を使用すること。(走高跳・やり投は12mm以内とする)
- ⑤ トラック種目は、すべてタイムレースとする。
- ⑥ 走高跳のバーの上げ方については、当日、跳躍審判長が決定する。
- ⑦ 三段跳の踏切板位置については、砂場から11mとする。
- ⑧ 競技エリア内に通信機器(携帯電話等)やビデオ撮影機器(タブレット等)を持ち込んではいならない。
- ⑨ A10,000mは48分00秒、A5,000m、B5,000m、C5,000mは23分00秒、H5,000m、I5,000mは26分00秒を経過後は、次の周回に入ることができない。
- ⑩ フィールドの芝生内は、全面立ち入り禁止とする。
- ⑪ 走幅跳・三段跳および投てき競技に於けるオープン参加者の試技数は3回とする。

7. 表彰について

- ・各種別・種目の優勝者に、賞状・賞品を授与する。

8. クラブ対抗について

- (1) 男女別の対抗とする。
- (2) 男女別総合優勝クラブには、それぞれ賞状・優勝杯(持ち回り)、2位・3位には賞状を授与する。
 - ・対抗得点は、各種目の6位まで得点を与え、6位までに同一クラブ2名以上ある場合は、上位2名の獲得得点とする。(下表参考のこと)
 - ・得点の配点は、1位7点、2位5点、・・・6位1点とする。

(参考)

順位	クラブ名	得点	得点算入
1	A クラブ	7	7点
2	B クラブ	5	5点
3	A クラブ	4	4点
4	C クラブ	3	3点
5	大阪陸協(個人)	2	対抗の対象外
6	A クラブ	1	3人目により対象外

Aクラブ 11点
 Bクラブ 5点
 Cクラブ 3点
 となる

- (3) 優勝杯返還式はおこなわない。ただし、団体表彰式については、競技終了後に実施する。

9. 免責事項について

- ① 競技中に生じた事故について、応急処置の他一切の責任は負わない。
- ② 新型コロナウイルス感染症の感染状況により急遽、競技会について変更になる場合がある。
- ③ 競技会に関わる全ての人の感染に対して、いかなる責任も負わない。

10. その他

- ① 声を出しての応援は禁止する。
- ② すべての競技者は、競技終了後に手洗い・消毒を行ってから退場すること。
- ③ 横断幕、のぼりの設置は禁止する。
- ④ 競技場内外での場所取りは禁止する。
- ⑤ ごみ箱は設置していないため、ごみ等は必ず持ち帰ること。
- ⑥ プログラム記載もれや訂正は大会本部まで申し出ること。
- ⑦ 記録およびクラブ対抗結果は、電光掲示板およびWEBページ(大阪陸協ホームページ)で確認すること。
- ⑧ 盗難が多発しているため貴重品は各自で保管するなど持ち物の管理には注意すること。
- ⑨ アスリートビブスがない場合、番号布(横24cm以内×縦16cm以内)を販売(200円)するので、各自で作成すること。
- ⑩ 競技会のYouTube配信を陸協担当者にて適時実施する予定にしているの、ご理解ください。

【別表】

競技用靴・靴底厚さ表

種 目	靴底最大の厚さ	要 件 ・ 備 考
フィールド競技(除:三段跳)	20mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 (競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは40mm)
競技場内で行う競歩	40mm	
道路競技(競走・競歩)	40mm	

※フィールド競技用靴における「靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。」の規定については、提要除外とするが、その他の規定は(靴底最大の厚さ)は、遵守すること。